

## データセキュリティキット 注意書

Version: Q1-1

この注意書は、大変重要な情報を記載していますので、なくさないように大切に保管してください。

### 高度なセキュリティ状態でのご利用について

本製品の取扱説明書の「高度なセキュリティを設定する」に記載された高度なセキュリティ状態で複合機を運用する場合に留意すべき項目について、以下に説明します。

#### 制限される機能

- 一度高度なセキュリティ状態に変更すると、変更前の状態に戻すことができません。
  - [個人情報及び本機内データの初期化]を実行した場合も、高度なセキュリティ状態は継続されます。
- パスワード要件が以下のように変更されます。
  - 最小パスワード長: 管理者によって設定された値(5～32文字、デフォルトは5文字)
- 権限グループの選択時に、ゲスト権限、および、スキャナー禁止権限を選択することができません。これら権限を選択したい場合は、「ユーザズマニュアル」の「権限グループリスト」を参考に、「設定(管理者)」の[ユーザー管理]→[アクセス制御設定]→[権限グループ]で各権限相当の権限グループを作成してください。
- ユーザー認証機能は常に有効になります。また、ユーザー番号によるユーザー認証、クイックログインによるユーザー認証、ICカードによるユーザー認証、および固定ユーザーログイン機能は使用できなくなります。
- 監査ログは常に有効になります。また、監査ログの保存先に内部ストレージを選択できなくなり、[監査ログの保存/削除]は使用できなくなります。
- アドレス帳の編集(登録、修正、削除)を行えるのは、管理者のみになります。
- 以下のコピー機能は使用できなくなります。
  - 連結コピー、コピー時の送信、プログラム登録、プログラム呼び出し
- 以下のプリンター機能は使用できなくなります。
  - 連結プリント、プリント時の送信、プリントジョブの送信、FTPプリント、E-mailプリント、共有フォルダーダイレクトプリント、USBメモリーダイレクトプリント、プリントリソース
- プリンタードライバーを介したプリントが行えるのは、Windows8.1以降においてIPP-SSL/TLS機能を使用した場合のみになります。
  - IPP-SSL/TLS機能を使用したプリントについては、本製品を設置した複合機の「ソフトウェアセットアップガイド」を参照ください。
  - プリンタードライバーをインストールする際、高度なセキュリティ状態の複合機は自動検索されません。事前に対象となる複合機のIPアドレスを確認しておく必要があります。

- プリントポート(LPD, Raw, WSD)および外部プリントサービス(AirPrint, IPP Everywhere)は使用できなくなります。
- 以下のスキャナー機能は使用できなくなります。
  - デスクトップ送信スキャン、共有フォルダー送信スキャン、リモートPCスキャン、保存先のリンク送信、外部メモリーデバイスへの保存、Sharpdesk Mobile、プログラム登録、プログラム呼び出し
- 以下のファクス機能は使用できなくなります。
  - Fコードメモリーボックス、PC-Fax、インターネットFax、受信データの転送、プログラム登録、プログラム呼び出し
- 使用できるファクス回線は1回線のみになります。回線増設ユニットは使用できなくなります。
- 受信ファクスデータにアクセス(表示、印刷、削除)できるのは、管理者、または受信ファクスデータへのアクセス権限が付与された権限グループに所属している利用者のみになります。
- 以下のドキュメントファイリング機能は使用できなくなります。
  - 自動一時保存フォルダー、外部メモリーデバイスへの保存、PCへの保存、ファイリングデータのバックアップ
- Webページ設定には、TLS 1.2に対応したWebブラウザが必要になります。
- 無線LAN、mDNS、プロキシは使用できなくなります。また、原則、SSL/TLSを使用しないネットワーク通信は使用できなくなります。
- ファームウェアアップデートを除くUSBホスト/デバイス機能を用いた複合機の機能は使用できなくなります。また、リモートファームウェアアップデートは使用できなくなります。
- その他、以下の機能は使用できなくなります。
  - Bluetooth, Sharp OSA、パブリックフォルダー/NAS、クラウド連携(Application Portal、COCORO OFFICEを含む)、モバイル連携、ジョブログの保存、NFC/QRコードによるかんたん接続、データのインポート/エクスポート、ストレージバックアップ、デバイスクローニング、システム設定の保存/呼び出し、工場出荷時設定リセット、E-mailアラート/ステータス、データ入力、音声アラート、セキュリティポリシーの適用

## 運用前の手続き

- 高度なセキュリティ状態への変更は、管理者が行ってください。
- 複合機の使用を開始する前に、高度なセキュリティ状態に変更することを推奨します。
- 既に使用中の複合機を高度なセキュリティ状態に変更する場合は、変更前にそれまでの使用データおよびその削除痕跡を複合機内から消去するため、本製品の取扱説明書の「データ消去設定」を参照し、[全データエリア消去]および[アドレス帳/本体内登録データ消去]を実行してください。また、コピー/ファクス送信/スキャンのプログラム、機器証明書、および、証明書署名要求(CSR)を登録している場合は、それらを全て削除してください。
- 高度なセキュリティ状態に変更する前に、以下の作業を行ってください。
  - 複合機の「ユーザーズマニュアル」を参照し、複合機の初期設置設定を行ってください。
  - 「設定(管理者)」の[システム設定]→[ネットワーク設定]→[インターフェース設定]から[IPv6]を無効にしてください。
  - 組み込み管理者(admin)のパスワードを5文字以上に変更してください。
  - 監査サーバーとしてTLS 1.2対応のsyslogサーバーをご準備いただいた上で、「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照し、監査ログの[ストレージ/送信設定]を監査サーバーに変更してください。また、変更前の設定が内部ストレージに保存する設定になっていた場合は、[監査ログの保存/削除]からそれまでに保存された監査ログをPCにエクスポートしてください。
  - Sharp OSAの外部アカウントアプリケーションによるユーザー認証を使用している場合は、内部認証またはネットワーク認証に変更してください。
  - 複合機がファクス回線やネットワークに接続している場合は、高度なセキュリティ状態への変更が完了するまでモジュラケーブルおよびLANケーブルを外した状態にしてください。
- 高度なセキュリティ状態に変更するための操作は、操作パネル上から組み込み管理者(admin)のみ行うことができます。
  - 「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[高度なセキュリティを設定する]から[実行]キーをタップすることで、高度なセキュリティ状態への変更処理が開始されます。
  - 処理の開始から完了まではしばらく時間がかかります。処理が完了するまでその場を離れず、処理中に複合機の電源が切断されないよう、十分にご注意ください。
  - 処理が完了しましたら、高度なセキュリティ状態に変更されたことの確認として、「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]に[高度なセキュリティを設定する]の項目が表示されていないことを確認してください。
- 高度なセキュリティ状態への変更が完了した後、以下の作業を行ってください。
  - LANケーブルを繋いでネットワークに接続した後、Webページ上から監査ログの送信先となる監査サーバーで使用するサーバー証明書に署名をした認証局

証明書を複合機にインポートし、複合機を再起動してください。

- セキュアに運用するため、組み込み管理者(admin)でログイン後、「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[パスワードの変更]から[最小パスワード長]を15桁以上に設定してください。また、組み込み管理者(admin)を含む管理者のパスワードを、設定した最小パスワード長を満たす値に変更してください。
- 前述の最小パスワード長の変更を含み、高度なセキュリティ状態ではパスワード要件が以下のように変更されます。
  - パスワード長: 前述で設定した最小パスワード長以上、255桁以下この要件を満たさないパスワードが設定されている利用者はログインできなくなります。そのような利用者については、管理者が要件を満たすようにパスワードを変更した上で、各利用者に変更後のパスワードを通知するようにしてください。
- 「設定(管理者)」の[システム設定]→[共通設定]→[操作設定]→[基本設定]から、[オートクリアモードの設定]の時間を使用に差し支えない範囲で、なるべく短くしてください。
- ユーザー認証に外部の認証サーバーをご利用になる場合は、認証サーバーとしてTLS 1.2対応のLDAPサーバーをご準備いただいた上で、「設定(管理者)」の[システム設定]→[ネットワーク設定]→[LDAP設定]から認証サーバーの登録を行い、Webページで、「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]から、登録した認証サーバーのサーバー証明書に署名をした認証局証明書を複合機にインポートしてください。また、「設定(管理者)」の[システム設定]→[認証設定]→[初期設定]から、[認証先設定]に[LDAP]を、[標準ネットワーク認証先設定]に登録した認証サーバーを選択し、[ネットワークサーバーでアクセス制御設定を指定する]にチェックを入れて[登録]を行ってください。
- E-mail送信スキャン機能をご利用になる場合は、メール送信サーバーとしてTLS 1.2対応のSMTPサーバーをご準備いただいた上で、「設定(管理者)」の[システム設定]→[ネットワーク設定]→[サービス設定]→[SMTP]からメール送信サーバーの登録を行い、Webページで「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]から、登録したメール送信サーバーのサーバー証明書に署名をした認証局証明書を複合機にインポートしてください。
- ファイルサーバー送信スキャン機能をご利用になる場合は、送信先ファイルサーバーとしてTLS 1.2対応のFTPサーバーをご準備いただいた上で、Webページで、「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]から、送信先ファイルサーバーのサーバー証明書に署名をした認証局証明書を複合機にインポートしてください。

- ファクス機能をご利用になる場合は、モジュラケーブルを繋いでPSTNファクス回線に接続し、複合機の「ユーザーズマニュアル」に従ってファクス設定に関する初期設定を行ってください。また、「設定(管理者)」の[ユーザー管理]→[アクセス制御設定]→[権限グループ]から、[ユーザー権限]をモデルとして[ファクスデータへのアクセス]を[許可]に設定した権限グループを作成し、「設定(管理者)」の[ユーザー管理]→[ユーザー設定]→[ユーザーリスト]から、管理者以外で受信ファクスデータへのアクセス(表示、印刷、削除)を許可する利用者の[権限グループ]を作成した権限グループに設定してください。

## 運用時のご注意

- 管理者は、原則、本資料で指示された設定については変更を行わないでください。もし、設定の変更を行ってしまった場合は、本資料に基づき、運用前の手続き完了時の設定に戻す必要があります。
- 複合機の電源を入れる時に自己テストが実行されます。このテストには、十数秒の時間を要します。テストが終了するまでは、複合機を使用することはできません。暗号化に関する機能が正しく動作していない、ファームウェアが毀損している等により、テストが正常終了しなかった場合、操作パネルに「エラーです。電源を入れ直してください。」と表示される、または操作パネルに何も表示されず、複合機の動作は停止します。複合機の電源を入れ直しても同じ現象が発生する場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- ユーザー認証に成功していないユーザーは、複合機を使用することができません。
- Webページ上からの操作を行う場合は、使用するWebブラウザがTLS 1.2に対応していることをご確認の上、TLS 1.2の使用を有効にした状態でご利用ください。
- Webページ上から操作を行う場合は、操作を終了するまで複合機以外が提供するWebページの閲覧および操作は行わないでください。Webページどうしが互いにセキュリティ的な影響を及ぼすことを防ぐためです。
- プリンタードライバーを介したプリントを使用する場合は、プリンタードライバーの印刷設定画面から[ジョブハンドリング]タブを選択し、以下の設定を行ってから印刷を実行してください。
  - [ドキュメントファイリング]に[印刷せずにホールド]を選択してください。
  - [保存先]に[自動一時保存]以外を選択し、[パスワード]を設定してください。
  - [認証]に[ログイン名/パスワード]を選択し、[ログイン名]と[パスワード]に複合機を利用可能な利用者のログイン名とパスワードを入力してください。
- プリンタードライバーを介したプリントをご利用の際、PCからの送信は完了しているが複合機がデータを受信しない場合は、プリンタードライバーの設定が正しくない可能性があります。プリンタードライバーの設定が正しく行えていることをご確認の上、再度印刷を実行してください。正しく設定してもデータが受信されない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

- プリンタードライバーを介したプリントによって複合機のストレージに保存されたデータを表示、編集、印刷、削除できるのは、管理者、またはPCから印刷を実行するときにプリンタードライバーの印刷設定画面に入力した[ログイン名]のユーザーのみになります。
- コピー、スキャンおよびファクス送信において、読み込んだ原稿データを表示、編集することができるのは、原稿の読み込みを実行したユーザーのみになります。
- 受信ファクスデータを表示、印刷、削除することができるのは、管理者、または受信ファクスデータへのアクセス権限が付与された権限グループに所属しているユーザーのみになります。
- ドキュメントファイリング機能で保存したデータを表示、編集、再操作、削除することができるのは、管理者、またはデータの保存を実行したユーザーのみになります。
- 管理者以外のユーザーは、他ユーザーのジョブを選択することはできず、中止/削除することができません。また、ジョブのリストを表示した際に、他ユーザーのジョブは一部「\*\*\*\*\*」でマスク表示されます。
- 管理者を含む全てのユーザーは、[ジョブ状況]に表示されるジョブを改変することはできません。
- 不具合の対応等でファームウェアアップデートを行う場合は、サービス担当者が複合機をメンテナンス用モードに切り替えて作業する必要があります。
- サービス担当者がメンテナンス用モードで作業を行うためには、お客様の同意が必要になります。同意いただける場合は、サービス担当者の指示に従い、操作パネル上で組み込み管理者(admin)のパスワードを入力していただきます。この同意は翌々日まで有効となります。ただし、その間に日付/時刻設定が変更された場合、この同意は無効となりますので、再度パスワードを入力していただく必要があります。
- サービス担当者による作業完了後、メンテナンス用モードから通常モードに戻っていることを確認するため、操作パネル上の表示をご確認ください。画面右上に「TEST」と表記されたアイコンが存在する場合は、メンテナンス用モードが終了していませんので、サービス担当者にご連絡ください。通常モードに戻っていることを確認した後、管理者は、本資料で指示された設定が変更されていないことをご確認ください。もし、設定が変更されている場合は、本資料に基づき、運用前の手続き完了時の設定に戻してください。
- 監査ログの保存先である外部サーバーへの送信に失敗した場合、操作パネルおよびWebページの画面上に警告メッセージが表示され、監査サーバーへの送信が成功するまで、未送信の監査ログは一時的に本体内に保持されます。未送信の監査ログが3万2千件以上になれば、組み込み管理者(admin)以外はログインできないよう制限されます。2万8千件未満になれば、この制限は解除されます。未送信の監査ログが4万件になれば、新規の監査ログは保持されず失われます。
- セキュリティを維持するため、管理者はすべての利用者が上記を守るよう徹底してください。

## 認証局証明書の管理機能について

本製品を設置した複合機を高度なセキュリティ状態で運用する場合、ネットワーク通信を行なう際に中間者攻撃を防ぐため、通信相手のサーバー証明書の検証を行います。そのため、各種サーバーと通信するためには、通信相手のサーバー証明書に署名をした認証局証明書を事前に入手し、複合機にインポートする必要があります。本機能は、それら証明書を複合機にインポートし、インポートされた証明書の表示および削除を行うためのものであり、管理者のみ使用することが許可されています。本機能の操作方法については以下に説明します。

### 証明書のインポート

STEP1: Webページで「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択します。

STEP2: [インポート]ボタンをクリックします。

STEP3: [参照]ボタンをクリックし、インポートする証明書を選択します。

STEP4: [ファイルからインポート]のパスが正しいことを確認し、[実行]ボタンをクリックします。

- インポートに成功すると「正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。」と表示された画面に切り替わり、インポートに失敗すると警告を促すメッセージが表示されます。
- インポートに失敗した場合は、STEP3で選択したファイルが証明書ファイルであるかご確認ください。証明書ファイルを選択してもインポートに失敗する場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

STEP5: [今すぐ再起動]ボタンをクリックし、複合機を再起動させます。

STEP6: 複合機が再起動後、「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択し、表示されたリストの中にSTEP3で選択した証明書が存在することを確認します。

### インポートされた証明書の表示

#### 操作パネルから操作する場合:

STEP1: 「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択します。

STEP2: リストから証明書を1つ選択し、サブジェクト名をタップします。

- 選択した証明書の内容が表示されます。
- [戻る]キーをタップすることで、前の画面に戻ることができます。

#### Webページから操作する場合:

STEP1: 「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択します。

STEP2: リストから証明書を1つ選択し、サブジェクト名をクリックします。

- 選択したサブジェクト名の証明書が表示されます。
- [戻る]ボタンをクリックすることで、前の画面に戻ることができます。

### インポートされた証明書の削除

#### 操作パネルから操作する場合:

STEP1: 「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択します。

STEP2: リストから証明書を1つ以上選択し、それぞれのチェックボックスをタップしてチェックを入れます。

- チェックが入ったチェックボックスをもう一度タップすることで、チェックを解除できます。
- 複数の証明書を選択した場合、それらを一括で削除することができます。
- [全選択]キーをタップすることで、全ての証明書のチェックボックスに一括でチェックを入れることができます。
- [選択解除]キーをタップすることで、全てのチェックを一括で解除することができます。

STEP3: [削除]キーをタップします。

- 確認ダイアログが表示されます。

STEP4: 確認ダイアログ内に表示された[OK]キーをタップします。

- 削除が完了すると「正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。」と表示された画面に切り替わります。

STEP5: [今すぐ再起動]キーをタップし、複合機を再起動させます。

STEP6: 複合機が再起動後、「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択し、表示されたリストにSTEP2で選択した証明書が存在しないことを確認します。

#### Webページから操作する場合:

STEP1: 「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択します。

STEP2: リストから証明書を1つ以上選択し、それぞれのチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

- チェックが入ったチェックボックスをもう一度クリックすることで、チェックを解除できます。
- 複数の証明書を選択した場合、それらを一括で削除することができます。
- [全選択]ボタンをクリックすることで、全ての証明書のチェックボックスに一括でチェックを入れることができます。
- [選択解除]ボタンをクリックすることで、全てのチェックを一括で解除することができます。

STEP3: [削除]ボタンをクリックします。

- 確認ダイアログが表示されます。

STEP4: 確認ダイアログ内に表示された[OK]ボタンをクリックします。

- 削除が完了すると「正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。」と表示された画面に切り替わります。

STEP5: [今すぐ再起動]ボタンをクリックし、複合機を再起動させます。

STEP6: 複合機が再起動後、「設定(管理者)」の[システム設定]→[セキュリティ設定]→[証明書の管理]→[認証局証明書の管理]を選択し、表示されたリストにSTEP2で選択した証明書が存在しないことを確認します。

## 各種操作を実行したときの応答について

高度なセキュリティ状態で運用している複合機の各種操作を実行したときの応答について、以下に説明します。「ユーザーズマニュアル」については、本製品を設置した複合機に同梱の「スタートガイド」を参照ください。なお、記載の内容についてご不明な点などある場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。

### 複合機の電源ON

- 電源ONに成功すると、操作パネルにログイン画面が表示されます。
- 電源ONに失敗すると、操作パネルに“エラーです。電源を入れ直してください。”と表示される、または操作パネルに何も表示されず、複合機の動作を停止します。
- 「ユーザーズマニュアル」、および本資料の「高度なセキュリティ状態でのご利用について」を参照の上、電源を入れ直してください。

### 複合機の電源OFF

- 電源OFFが開始すると、“電源を切っています”と表示されます。電源OFFが完了すると、操作パネルの表示が消えます。

### ユーザー認証

- 操作パネルで認証に成功すると、ログインしたユーザーのホーム画面が表示されます。Webページで認証に成功すると、設定画面が表示されます。
- 操作パネルで認証に失敗すると、ログイン画面に“認証に失敗しました。”と表示されます。Webページで認証に失敗すると、ログイン画面に“認証エラー”と表示されます。
  - 入力しているログイン名、パスワード、および認証先をご確認の上、認証をやり直してください。
- アカウントがロックされている状態で認証を行うと、ログイン画面に“アカウントがロックされています。”と表示されます。
  - 本製品の取扱説明書の「ロックアウトについて」を参照の上、ロックを解除してから認証をやり直してください。

### プリンタードライバーからの印刷

- PCから印刷を実行した際に、複合機がPCから受信したプリントデータの保存に成功/失敗したことに対する応答はありません。
- 管理者またはプリンタードライバーの印刷設定画面で入力したユーザーでログインした状態で、操作パネルの[ドキュメントファイリング]、またはWebページの[ファイル操作]→[ドキュメントファイリング]からプリンタードライバーの印刷設定画面で入力した保存先のフォルダーを選択してください。保存に成功すると、ファイル選択画面に送信したプリントデータのファイルが表示されます。

- 保存に成功したときは、「ユーザーズマニュアル」の「プリンター」を参照の上、操作パネルから保存されたプリントデータの印刷を行ってください。
- 保存に失敗したときは、「ユーザーズマニュアル」、および本資料の「高度なセキュリティ状態でのご利用について」を参照の上、問題を解決してから再度PCから印刷を行ってください。
- 保存されたプリントデータの印刷が完了したことに対する応答はありません。
  - 印刷が完了すると、[ジョブ状況]→[プリント]→[完了]の画面に印刷を実行したジョブが表示され、[状況]に「OK」と表示されます。
  - 用紙切れなどにより、印刷が途中で停止することがあります。操作パネルに表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」を参照の上、問題を解決してから印刷を再開してください。

### コピー

- コピーが完了したことに対する応答はありません。
  - コピーが完了すると、[ジョブ状況]→[プリント]→[完了]の画面にコピーを実行したジョブが表示され、[状況]に「OK」と表示されます。
  - 用紙切れなどにより、コピーが途中で停止することがあります。操作パネルに表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」を参照の上、問題を解決してからコピーを再開してください。

### スキャン送信(E-mail、ファイルサーバー)

- 送信に成功したことに対する応答はありません。
  - 送信に成功すると、[ジョブ状況]→[スキャナー]→[完了]の画面に送信を実行したジョブが表示され、[状況]に「送信OK」と表示されます。
- 送信に失敗すると、操作パネルに警告を促すメッセージが表示されます。(例。“指定されているサーバーが見当たりません。”、“画像送信中に指定サーバーとの通信ができなくなりました。”)
  - 操作パネルに表示されるメッセージ、「ユーザーズマニュアル」、および本資料の「高度なセキュリティ状態でのご利用について」を参照の上、問題を解決してから再度送信を行ってください。

## ファクス送信

- 送信に成功すると、送信終了音が鳴ります。
  - [ジョブ状況]→[ファクス]→[完了]の画面に送信を実行したジョブが表示され、[状況]に「送信OK」と表示されます。
- 送信した相手が話し中だった場合、再コールが設定されていると自動的に時間をあけて送信し直します。
  - 詳しくは、「ユーザーズマニュアル」の「ファクス」を参照ください。
- 送信時に通信エラーが発生した場合、再コールが設定されていると自動的に時間をあけて送信し直します。
  - 詳しくは、「ユーザーズマニュアル」の「ファクス」を参照ください。
- 再コールを含め、送信に失敗すると、送信エラー音が鳴ります。
  - [ジョブ状況]→[ファクス]→[完了]の画面に送信を実行したジョブが表示され、[状況]に失敗原因が表示されます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル」の「ファクス」を参照ください。

## ファクス受信

- 受信が始まるとインフォメーションランプが白色に点滅します。受信が終わると「ピー」音が鳴ります。
  - 詳しくは、「ユーザーズマニュアル」の「ファクス」を参照ください。

## ドキュメントファイリング

- データの保存が完了すると、「データを暗号化して保存しました。」と表示されます。
  - 管理者、またはデータの保存を実行したユーザーでログインした状態で、操作パネルの[ドキュメントファイリング]、またはWebページの[ファイル操作]→[ドキュメントファイリング]から保存先のフォルダーを選択すると、ファイル選択画面に保存したファイルが表示されます。
- 操作パネルでデータの削除を実行した場合、データの削除が開始すると、「データを消去しています。」と表示されます。削除が完了すると、この表示が消えます。Webページでデータの削除を実行した場合、削除が完了すると、「正常に処理されました。」と表示されます。
- 再操作による印刷の応答については本節の「コピー」を、再操作によるE-mail送信またはファイルサーバー送信の応答については本節の「スキャン送信(E-mail、ファイルサーバー)」を、再操作によるファクス送信の応答については本節の「ファクス送信」を参照ください。

## ジョブ状況の表示

- 選択したタブおよび処理状況に該当するジョブのリストが表示されます。
  - 管理者以外のユーザーでログインしている場合、他ユーザーのジョブは一部「\*\*\*\*\*」でマスク表示されます。

## 実行中、予約中のジョブを中止/削除

- ジョブの中止/削除が完了したことにに対する応答はありません。
  - ジョブの中止/削除が完了すると、中止/削除したジョブは予約/実行中のリストから消去されます。

## 内部認証用ユーザーの登録/修正

- 登録/修正に成功すると、[ユーザーリスト]画面に切り替わります。
- 登録/修正に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“パスワードは半角英数記号15文字以上255文字以内で入力してください。”、“そのログイン名はすでに登録されています。違うログイン名に変更してください。”)
  - 表示されるメッセージ、「ユーザーズマニュアル」の「お使いになる前に」、および本資料の「高度なセキュリティ状態でのご利用について」を参照の上、登録/修正をやり直してください。

## 内部認証用ユーザーの削除

- 削除が完了したことにに対する応答はありません。
  - 削除が完了すると、実行時に選択したユーザーはユーザーリストから消去されます。
- ユーザーを削除した場合、削除したユーザーに紐づく本体に保存されたデータは削除してください。

## 権限グループの登録/修正

- 登録/修正に成功すると、[権限グループ]画面に切り替わり、「正常に処理されました。設定を有効にするには、再ログインしてください。」と表示されます。
- 登録/修正に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“グループ名を入力してください。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「お使いになる前に」を参照の上、登録/修正をやり直してください。

## 権限グループを工場出荷時の状態に戻す

- 状態戻しが完了すると、「正常に処理されました。」と表示されます。
  - 状態戻しが完了した場合、実行時に選択した権限グループはグループリストから消去されます。

## アドレス帳の登録/修正

- 操作パネルで登録/修正に成功すると、「登録に成功しました。」と表示されます。Webページで登録/修正に成功すると、「正常に処理されました。」と表示されます。
- 登録/修正に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“この番号はすでに登録されています。別の番号を設定してください。”、“宛先名を入力してください。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」を参照の上、登録/修正をやり直してください。

## アドレス帳の削除

- 操作パネルで個別に選択して削除を実行した場合、削除が完了すると、「正常に処理されました。」と表示されます。操作パネルで全削除を実行した場合、削除が開始すると「アドレス帳の全ての宛先を削除中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。削除が完了すると、この表示が消えます。Webページで削除を実行した場合、削除が完了すると、「正常に処理されました。」と表示されます。
  - 各操作で削除が完了すると、実行時に選択した宛先がアドレス帳から消去されます。

## 日付/時刻の変更

- 変更が完了すると、“正常に処理されました。”と表示され、[現在の日時]に変更後の日時が表示されます。

## 機器証明書の作成

- 作成に成功すると、“正常に処理されました。”と表示されます。
- 作成に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“共通名称を入力してください。”、“証明書開始日に数値以外が入力されています。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照の上、作成をやり直してください。

## 機器証明書の削除

- 削除が完了すると、“正常に処理されました。”と表示されます。
  - 実行時に選択した機器証明書は[機器証明書の管理]画面のリストから消去されます。
  - SSL/TLS通信等で使用中の機器証明書を削除した場合は、複合機を再起動してください。

## 証明書署名要求(CSR)の作成

- 作成に成功すると、“正常に処理されました。”と表示され、作成された証明書署名要求(CSR)の証明書情報を確認することができます。
  - 作成が成功した後、[保存]ボタンを押して、証明書情報を書き込んだファイルをお使いのPCに保存してください。
- 作成に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“共通名称を入力してください。”、“国コードを入力してください。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照の上、作成をやり直してください。

## 証明書署名要求(CSR)の削除

- 削除が完了すると、“正常に処理されました。”と表示されます。
  - 実行時に選択した証明書署名要求(CSR)は[証明書署名要求(CSR)の管理]画面のリストから消去されます。

## 公開鍵証明書のインストール

- インストールに成功すると、“正常に処理されました。”と表示されます。
- インストールに失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“ファイル名を入力してください。”、“証明書は導入されていません。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照の上、インストールをやり直してください。

## 機器証明書の選択

- 選択が完了すると、画面が切り替わり、“正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。”と表示されます。
  - 画面内の[今すぐ再起動]ボタンを押してください。複合機が再起動します。

## 機器証明書の解除

- 解除が完了すると、画面が切り替わり、“正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。”と表示されます。
  - 画面内の[今すぐ再起動]ボタンを押してください。複合機が再起動します。

## 最小パスワード長の変更

- 変更が完了すると、“正常に処理されました。”と表示されます。
  - 変更が完了した後、変更した最小パスワード長を満たさないパスワードが設定されているユーザーはログインできなくなります。本資料の「高度なセキュリティ状態でのご利用について」を参照の上、パスワードの変更を行ってください。

## 識別認証方式の変更

- 操作パネルで変更が完了すると、“操作をリセットして、変更を反映します。”と表示されます。Webページで変更が完了すると、“正常に処理されました。”と表示されます。

## 自動ログアウト時間の設定

- 操作パネルで設定が完了すると、“操作をリセットして、変更を反映します。”と表示されます。Webページで設定が完了すると、“正常に処理されました。”と表示されます。

## 監査ログ送信先の設定

- 設定に成功すると、画面が切り替わり、“正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。”と表示されます。
  - 画面内の「今すぐ再起動」ボタンを押してください。複合機が再起動します。
- 設定に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“ポート番号は65535以内で入力してください。”、“ポート番号に数値以外が入力されています。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照の上、設定をやり直してください。

## LDAPサーバーの登録/修正

- 登録/修正に成功すると、[LDAP設定]画面に切り替わります。
- 登録/修正に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例.“LDAPサーバーを入力してください。”、“ポート番号に数値以外が入力されています。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照の上、登録/修正をやり直してください。

## IPアドレスの設定

- 設定に成功すると、画面が切り替わり、“正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。”と表示されます。
  - 画面内の[今すぐ再起動]ボタンを押してください。複合機が再起動します。

- 設定に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例. “IPv4アドレスを入力してください。”, “IPv4アドレスの入力形式が不正です。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照の上、設定をやり直してください。

### メール送信サーバーの設定

- 設定に成功すると、“正常に処理されました。”と表示されます。
- 設定に失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例. “ポート番号に数値以外が入力されています。”, “返信アドレスを入力してください。”)
  - 表示されるメッセージ、および「ユーザーズマニュアル」の「システム設定」を参照の上、設定をやり直してください。

### 認証局証明書のインポート

- インポートに成功すると、画面が切り替わり、“正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。”と表示されます。
  - 画面内の[今すぐ再起動]ボタンを押してください。複合機が再起動します。
- インポートに失敗すると、必須項目の入力や不正な入力の修正を促すメッセージが表示されます。(例. “ファイル名を入力してください。”, “読み込みに失敗しました。指定されたファイルが見つからないか、不正なファイルです。”)
  - 表示されるメッセージ、および本資料の「認証局証明書の管理機能について」を参照の上、インポートをやり直してください。

### 認証局証明書の削除

- 削除が完了すると、画面が切り替わり、“正常に処理されました。設定を有効にするには、複合機の電源を入れ直してください。”と表示されます。
  - 画面内の[今すぐ再起動]ボタンを押してください。複合機が再起動します。
- 実行時に選択した証明書は[認証局証明書の管理]画面のリストから消去されます。

### ファームウェアバージョンの問い合わせ

- ファームウェアのバージョンが表示されます。

### ファームウェアアップデート

- ファームウェアアップデートは管理者により許可されたサービス担当者が実行するため、管理者を含む全てのユーザーはアップデートに成功/失敗したことに対する応答を確認することはできません。
  - アップデートの成功/失敗は、アップデート後のファームウェアのバージョンから確認してください。
  - アップデートに失敗した場合は、アップデートを実行したサービス担当者に問い合わせてください。

### 個人情報及び本機内データの初期化

- 初期化により複合機内の監査ログも消去されます。監査ログの保存先が外部サーバーに設定されている場合、正常に送信されていることを初期化開始前に確認してください。監査ログの保存先が内部ストレージに設定されている場合、必要に応じ初期化開始前にエクスポートしてください。
- 監査ログの保存先が外部サーバーに設定されている場合、初期化を開始する際に、イベント名 Change Setting, 追加情報 “Initialize Private Data / Data in Machine” および “Execute” の監査ログが送信されます。
- 初期化が完了すると、複合機が再起動します。再起動後、初期化完了のレポートが出力され、操作パネルに初期化完了メッセージが表示されます。
- 初期化の途中でエラーが発生すると、操作パネルに“エラーです。電源を入れ直してください。”と表示されます。
  - お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口までご連絡ください。